

中央大学学員会 熊本支部 会報

第5号

支部長挨拶

がんばれ！CHUO 2025！

岩田 英志 (昭和51年卒)



昨年度から支部長を仰せつかっております岩田でございます。

新型コロナウイルス感染により、日本に限らず世界で大変な状況の中、学員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、中央大学も今年で135年を迎えており、新たな方向性が導かれております。ビジョン2025です！

皆さんのご承知のことと存じますが大きく3つの柱がございます。1番目が学部増設でございます。多摩キャンパスに「国際経済学」、市谷田町キャンパスに「国際情報学部」が2019年に開設されております。大変な人気で特に国際情報学部は合格倍率が50倍も上回ったようで総合政策部以来20数年来の新学部でしたので大きな反響に驚

きでした。2番目は、二大キャンパス体制です。多摩キャンパスに文系学部の教育施設の整備計画で来年2021年には学部共通棟が完成いたします。

都心キャンパスの後楽園も理工学部の施設整備と後楽園キャンパスの近隣に2023年に文京区茗荷谷に法学部と法科大学院の校舎が完成し法学部が移転する予定です。今後わくわくする様な大変な事業です。

3番目は、グローバル化の推進の一環で外国人留学生と邦人の中大生が一緒に生活できる国際教育寮が2020年3月に完成いたしました。

この様に、2015年に策定いたしました中長期事業計画「CHUO VISION 2025」において創立140年までに事業が完成するよう取り組んでおられますし、未来のために、又58万に上る卒業生の誇りの為に大学が今大変頑張っておられます。我々も大変うれしくエールを送りたい気持ちで一杯です。

熊本県支部の学員会の皆様にも是非

大学の状況をご理解いただきこの事業が成功します様心から願います。ご支援を賜れば幸いに存じます。熊本県支部の今年度の活動テーマは「中大ビジョン2025とブランド力アップの支援」と「学員

コラム

感謝を忘れず



藤本 理恵 (平成13年卒)

力の拡大」です。どうかご協力とご指導くださいませ。

皆さんと共に今年一年素晴らしい年になります様心から祈念いたしましてご挨拶いたします。

平成13年卒の藤本理恵と申します。私が12歳の時、陸上自衛官だった父が病気のため43歳で他界し、以後私は母子家庭で育ちました。本来ならば東京の大学に行ける経済状況ではなかったのですが、東京で法律を学びたいという私の思いを理解してくれた母や、祖母と伯母の援助もあり、中央大学に進学することができました。そして大学卒業後、帰熊してから2つの法律事務所勤務しましたが、いづれも知人を通じて求人のお話をいただいたことがきっかけで入社することができ、法律関係の仕事

に携わることを希望していた私にとっては本当にありがたく、人脈の大切さを改めて感じました。また、中央大学学員会の熊本支部の存在を知らなかった私は、平成29年に逝去された守屋尚先輩からのお誘いで、平成24年にフェイスブック交流会に参加し、その後学会にも出席するようになりました。現在、中央大学卒業生の方々の交流を持つことができているのも守屋先輩のおかげです。私は今年、父が他界した時と同じ43歳になります。これからも日々感謝の気持ちを忘れず、父が生きているのでできなかったこれから先の人生を歩んでいきたいと思っています。

大学での学びは、人生の礎

錦戸企業グループ社長
錦戸 保介(昭和42年卒)



豊かな自然に恵まれた藍の島天草で生をうけ、海や山で遊んでいた昭和33年、苓北町で炭鉱を経営していた父は、中学1年生の私と、弟に「東京に行って、学んでみないか」と唐突に言いました。高等小学校しか出ていない父は学歴で苦労したことも多く、同じ苦労をさせたくないという親心から、東京の中学に通うことになりました。当時中央大学に通っていた伯父夫婦の家に下宿して、新生活が始まりました。14歳でいきなり上京したので、言葉が通じず苦労しました。高校進学の際、伯父に中央大学の、質実剛健な校風を強くすすめられたので、中央大学附属高校に進みました。高校では友達も増え、言葉にも慣れ、高3の時には生徒会の議長を務めました。附属高校は、その翌年杉並から小金井市に新築移転することになっており、最後の記念として、別々に行われていた芸能



豊かな自然に囲まれたホテルアレグリアガーデンズ天草

祭、体育祭、球技大会をまとめて学園祭として1週間通してできないかと校長に何度も直談判して、実現させたことが思い出深いです。言ってみれば荒くれの1800名の男子生徒をまとめるのは大変で、貴重な体験になりました。

私は6人兄弟で、上5人の兄弟は全員附属高校出身、上3人は大学も中央大学にお世話になりました。大学に進む際は長男でもあり、父の事業を引き継ぎたいと思い、法学部や理工学部も検討しましたが、結局、商学部に入學しました。父は大変喜んでくれました。

商学部では簿記・会計学の権威で、後に第14代学長になられた井上達雄先生が主宰されていた「商学会」という学術団体に所属しました。簿記・会計は全く素人でしたが、基礎からみっちり鍛えられました。今思えばこの時学んだ会計学は、会社経営に随分と役に立ちました。授業よりは商学会に入り浸って勉強していましたが、大学3年生の夏、父が病気で倒れ、その秋に亡くなりました。父の事業を今後どうするかという時に、残された社員の生活もあり、引き継ぐことを決心しました。大学4年生の時、2年分24科目の試験を受け、何とか卒業だけは何とかなりました。

父が経営していた石炭の採掘事業は、3、4年前から石炭が枯渇し、代わりに砕石業を行っていました。引き継いでみると、赤字が続いており、撤退を余儀なくされました。学生社長の最初の仕事は炭鉱の閉山式でした。約60名の社員を解雇せざる

をえなくなり、20名だけ雇用し、旧本渡市の郊外で、砕石事業を露天掘りで再開しました。やっと事業も軌道に乗り始めた矢先の昭和47年、天草大水害で落石事故が発生し、再び撤退を余儀なくされました。事業を引き継いだ当初は何度も何度も苦しい経験をし、事業継続の難しさを痛感しました。

一方で、父が知人から引き受けて経営していた天草石油と三和コンクリート工業は昭和41年天草五橋開通や、いざなぎ景気を背景に公共事業などが増え、高度経済成長が始まりました。学生社長の船出は大変厳しいものでしたが、その後は時代にも恵まれ、順調に推移することが出来ました。

炭鉱閉山という苦しい体験を通じて、事業を継続発展させていくには一つの業種よりは多角化することに、より、より安定させたいと考えていました。現在ではグループ企業が9社ありますが、どれ一つとっても、周りの方から相談を受けて引き受けた事業ばかりです。2004年に経営に参画したホテルアレグリアガーデンズ天草も当時経営されていた会社の経営再建に伴い、事業の売却が決定されました。

当時私は本渡商工会議所の副会頭を務めていましたが、地元資本での経営存続を願う声もあり、話をいただいた時に、ホテルがなくなれば天



フランスの著名な画家ポールギヤマン氏と夫婦で

草の観光産業が衰退してしまうという危機感と、ホテル文化を消してはならないという思いから、経営を引き受けることにしました。リニューアルには随分と経費もかかりましたが、オペレーション機能を改善したこともあり、安定した経営を行っています。

グループでは三和コンクリート工業をはじめ、ホテル、石油、プロパン、運輸、管工事、通信事業、老人介護施設など様々な事業を展開しており、友人から、様々な業種の会社をよくぞ一人で経営しているものだと言われます。私は経営は人づくりだと思っています。業種は違っても働くのは人だから経営は同じです。人を育てることで、より良いサービス、付加価値を創造し、地域貢献をしたかと思っています。明治時代の政治家、後藤新平の言葉に、「金を残して死ぬ者は下、仕事を残して死ぬ者は中、人を残して死ぬ者は上」というものがあり、私なりに実践してきたつもりです。現在グループには500名以上の社員が働いていますが、社員の成長こそが会社の発展に直結するものです。企業は利益が出ないと存続できないが、利益が唯一の目的であってはならない、企業は豊かな地域社会造りのために行うべきで、数字ばかりでなく、経営そのものを肌で感じなければならぬ、これは学生時代井上先生が何度も繰り返し教えたことです。中央大学での学びは、人生の礎を築いてくれました。今年、県内唯一の水族館を持つ「海中水族館シードーナツ」や、「天草パールセンター」のリニューアルに取り組み、藻類バイオマスの事業の実用化など、まだまだしばらくは休めそうにありません。私を育ててくれた地元にも少しでも恩返しができると思っています。

市長白門会 母校で講義

熊本県宇城市長
守田 憲史(昭和58年卒)



市長白門会というのがあります。20名ちかくの全国の市長で結成された会で歴史もあるそうです。この白門市長会で中大総合政策学部の毎週一コマの授業を持っています。市長は廻りばんこで年に1、2回の授業を持つということですが私は今まで1回だけ授業をさせていただきました。

その授業のテーマは「地方公務員の勤め」でした。私は司法書士の生業から県議会議員を10年、それから宇城市長を今年7年させてもらっています。いわば政治の側から行政に入りました。市長ですから政治家でもあり行政の責任者でもあります。

あくまでも4年の任期ですが信任を得た市長と議会議員で市の政治は決定されるわけです。しかし政治の作用として条例(法律)及び予算が決定されますがその条例及び予算の範囲で何をするかは行政の作用です。その行政の裁量は決して狭くありません。

もちろん議会制民主主義を否定するつもりは政治家として全くありませんし、むしろ行政のオールリセットボタ

ンを持つのは議会であり選挙であります。

しかし行政の作用は大変重要なものだと思います。行政のトップは市長だから市長の思いのままやれるではないかと時に批判されますがそうではありません。市長の意向だけでは動くものはありません。なぜなら公共として、市民のために大きな組織として動かなければならぬ自治体はその本分として行政は公正の中で継続して作用しなくてはならないからだと思います。

公正と継続は至難の技でこればかりは行政のプロ、公務員こそができる熟練の匠の技だと思います。彼らの力を借りずにできることではありません。国における官僚が力を持つのはなんとなくわかります。

地方公務員というルーティンワークの地味な職業と思われがちですがとてもとてもやりがいのある面白い職業だと思えます。その裁量は決して狭くありません。

政治と行政は現実的には本来一体的なものだと思います。選挙に出て政治行政にアプローチするか、公務員となって政治行政にアプローチするか選

択は自由です。白門会の皆様方、あなたの子供さんを是非、公務員にまたは地方公務員に

なることを薦めていただけませんか？
とてもとてもやりがいのある楽しい職業です。



定期総会の延期について

中央大学学員会熊本支部 支部長 岩田 英志

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より当支部の活動にご支援、ご理解を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本年度の定期総会の開催につきまして、6月13日の開催に向け、準備を進めておりましたが、4月8日に開催いたしました緊急三役会議において、新型コロナウイルス

感染拡大防止のため、下記の通り延期することを決定いたしました。8月には改めて総会のご案内をいたします。今後とも、引き続きご協力をお願いいたします。

令和2年度中央大学学員会熊本支部総会
令和2年10月23日(金曜日)

一生新人

熊本市議会議員 藤山 英美 (昭和46年卒) (熊本自由民主党市議団幹事長)



私は昭和46年、中央大学経済学部を卒業し、民間企業勤務を経て、熊本市役所に入所、福祉事務所を振り出しに、会計室、衛生部、中小企業部、地下水保全対策(県水資源対策室出向)地域振興等21年間の貴重な経験を積んで熊本市議選挙に挑戦しました。

挑戦するにあたり、在学中剣道部部长だった高木友之助総長に激励文をお願いした時、私は行政の経験を最大限生かし、市政に「初心を忘れず」貢献することが私の使命と話しますと、高木先生は「一生新人」と書かれた色紙を渡されました。

「頑張れよ!」の言葉に一生新人を胸に刻み今日迄25年間議員活動をしてきました。

熊本市のため、市民のために行財政改革など、熊本市政への政策提案等多



くのことを継続して訴え実現してきました。市民の皆様にも市政・行政に関心を持ってもらうことが大事だと思っています。以下活動の主なものを年代ごとに紹介致します。

H 7 ○県道熊本・高森線肥後銀行

H 8 ○布田川断層帯での地震対策の必要性を提案(20年後のH28・4月14・16日熊本地震発生)

H 9 ○第二空港線佐土原交差点改良、県立盲学校南東角交差点改良提案(18年後H27・14年後H23完成)

H 10 ○ごみ収集(年間3億円)の見直し提案(燃えるごみ週3回↓2回、古紙月2回↓週1回、ペットボトル収集新設)

H 11 ○秋津3丁目公園建設ワークショップ開催(H12年度完成)

H 12 ○特別会計熊本市交通共済制度の民間委託提案(H13年度実施)

H 14 ○白川中流域地下水かん養対策(失対事業)の対応指摘(H12年度末廃止)

H 16 ○益城熊本空港インター高速バス停設置陳情(H17・8・1設置)

H 17 ○市電の150円均一運賃の提案(H17、H19質問、H18、3ヶ月150円運賃試行、H19・10月12日全線150円運賃の実施)

H 18 ○健康川の洪水防止対策として県の遊水池利用提案(H20年度完成)

H 21 ○地域団体へ公園の除草委託提案(H22年度除草約20回実施、低木の剪定、池清掃受託)

H 25 ○秋津都市小川川雨水調整築造質問(H13、14、16)H27年度完成

H 30 ○街路樹の適正管理(安全、安心、管理コストの見直し)質問

R 1 ○小中一貫校の推進(小規模校の見直し)質問 R2年度より2校実施

○公有施設等管理マネジメントにAIの利用提案

恐縮ですが、「一生新人」の気概で25年間の議員活動の一端です。熊本市政の問題に愚直に取り組み成果をだしてきた議員が中央大学の同窓に居ることを知っていただければ幸いです。市民目線を原点に活動しておりますが、自分1人の考え方、知恵には限度があります。皆様方の意見等いただければ市政の発展に必ず寄与できると思います。

今後共よろしくお願い致します。

(有)西銀座会館 (有)オフィス・リジン

代表取締役

荒木 誠也

(昭和44年卒)

公認会計士・税理士 京都大学 経営管理大学院 特命教授

吉永 茂

(昭和42年卒)

熊本県文化協会名誉会長 九州産業交通ホールディングス(株)

顧問

吉丸 良治

(昭和41年卒)

岩本俊雄税理士事務所

所長

岩本 俊雄

(昭和40年卒)

企業訪問

九州電子株式会社

九州電子株式会社
北澤 永通(昭和58年卒)



皆さんこんにちは。当社は、宇城市不知火町にある半導体メーカーです。間もなく創業47年を迎えます。熊本市の中心部から約20km南に下った、天草への入り口・宇土半島の付け根に位置しています。ご存じの方も多いでしょうが、デコポン発祥の地であり、農産物が特産ですが、海の幸にも恵まれた、たいへん豊かな地域です。

半導体の会社を営んでいます。私は理系学部の出身ではなく、ガチガチの文系です。また学員会熊本支部の皆さんは、ほぼ熊本のご出身だと思えますが、私は東京生まれ東京育ちです。そんな私が熊本と半導体にご縁ができたのは、父が当社を設立した為であります。父は、関東の電機メーカーに勤務していたのですが、当時の田中角栄内閣の『日本列島改造論』東京一極集中から地方分散への流れに乗り、主要取引先がメイン工場を熊本に移転した事に伴い、当社を設立しました。とは言え、私は電機業界に全く興味は無く、父も私に継がせるつもりは無かった為、就活は勝手に、本学卒業後は神奈川県地方銀行『横浜銀行』に入行し、それなりに充実した日々を過ごしていました。

父の経営を支えていた、2名しかいない役員(財務と技術)が2人とも病で倒れ、会社運営の危機が突然やってきました。父から、技術は自分が見るので、財務を私に見て欲しいと要望され、悩みに悩みましたが、当社に入る事を決断しました。1996(平成8年)の事でした。それ以来熊本にお世話になり早や24年になります。当支部への入会は、前支部長の丸本文紀先輩に、父が懇意にしていたいたしていた事がきっかけでした。では少し会社の紹介をさせていただきます。現在の社員は約580名で、うち40%を技術者が占めており、ものづくりだけではなく、開発力で成長してきた会社です。不知火本社工場の他、設計拠点が県内に3ヶ所(甲佐町、市内花畑町と水道町)あり、海外は台湾に設計・製造子会社があります。半導体と言っても、いろいろな種類があります。当社が主に扱っている製品は、『光(ひかり)半導体』と言います。『電気信号を光信号に変換』し、また逆に『光信号を電気信号に変換』する製品です。波長、出力、など様々な種類がありますが、簡単に述べると基本的には、これだけの機能に特化した半導体です。用途は『光ファイバー通信』、『車載』、『産業機器』、『データセンター』、等に幅広く活用いただいています。現在月産5〜6千万個ほど作っています。今後発展する『5G通信』や『IOT(物のインターネット)』にも不可欠な半導体です。



不知火本社工場

創業以来『企業は人なり!』を基本理念に掲げ、人材育成に力を入れています。競争力の向上を目指しQ・C・D(品質・コスト・デリバリー)を日々追求していますが、人の成長無くして、開発やプロセスの品質は決して高まらないからです。銀行員時代は、お客様の決算書を読み、ここが良いとか悪いとか分析をし、その会社を分かったつもりになっていましたが、自分で会社を経営する立場になると、数字は『自分の意志と覚悟で作るもの』という事が解りました。責任はたいへん重いです、やりがいのある仕事に従事出来たと思っっています。常に課題が山積していますが、今後多少しも社員満足度を高め、地元や社会に貢献できる様努力していくつもりです。

合資会社 橋本商店
代表社員
橋本 和久
(昭和53年卒)

東良政税理士事務所
税理士
東 良政
(昭和52年卒)

株式会社 日本ビル管理
代表取締役
森本 茂樹
(昭和50年卒)

税理士法人
未来税務会計事務所
代表社員
西田 尚史
(昭和47年卒)

ラグビーに思うこと

株式会社オーデン
村山 直志(平成元年卒)



こんにちは。平成元年文学部卒業の村山と申します。現在は、(株)オーデンを立ち上げ、ハム・ソーセージなどの食肉加工、パン製造及びサンドウィッチ・惣菜などの製造・販売を営んでおります。

大学時代はラグビー部に所属しております。学校近くの堀ノ内での白鈴寮にて、ラグビーに明け暮れた日々をおくりました。

しかしながら私自身、真摯に真面目に取り組んだ4年間とは言い難く、不真面目な学生でありました。毎日、ワイワイ、ガヤガヤと大騒ぎして、寮生活を送ったことが懐かしく思い出されます。

ラグビーといえば昨年のワールドカップで日本チームの大躍進は誰もが知るところです。強豪アイルランド、スコットランドを破って日本代表初のベスト8進出、勇気と感動を与えてく

れました。ワンチームという言葉は流行語大賞にもなりました。輝かしいばかりであります。ただ、私がまだ現役の頃の1995年の大会では、日本はニュージーランドのオールブラックスに147対17という歴史的な大敗を喫しております。歴史的勝利の20数年前には歴史的な大敗があるということですが、言葉や文字では伝えきれない困難があったでしょうが、このことが私の中で大いに感じるものがありました。

すぐに結果は出なくても毎日毎日真摯に取り組めば必ず事は成し遂げていくものだと思えてくれました。日々の生活、仕事においても通じるものがあると思います。

不真面目な学生生活を送っていたにもかかわらず、ラグビーを通して学んだことは数多く、現在の私の力の源になっております。

お正月の全国大学ラグビーの国立の舞台に中大ラグビーが登場するのを心待ちにしております。

平成元年卒業で元卒(ガンソツ)という響きが覚えやすく、耳ざわりが良かったのですが、あつというまに30数年が経ち次の時代に入りました。急速な時代の変化に対し、変わるべきもの、変わらないものを見極め日々精進していく次第であります。

最後にこの機会を与えてくださった学員会の皆様、平井先輩に感謝いたします。普段あまり思い返さないことを思い出すことが出来ました。

思い出のエピソードとしては、寮生活は4年、3年、2年、1年の4人一部屋での生活でしたが、当時4年生の部屋長が猫のマイケルを飼っていましたので、階級は4年、3年、2年、マイケル、私でした。マイケルに電話がかかってきたならば(先輩でしようがほんとににかけてくる方がいました)、「マイケルさんお電話です」、「マイケルさんは、ただ今外出しています」、「また食事(餌)の時は「マイケルさんお食事の用意ができました」などやっておりました(笑)。ただ1年(私)の失態で2年生が集合させられることが当時とつても、とつても辛くて、痛いことでした。ですので、マイケルさんに関しては一生懸命やったふりをしていました。そんな時に限ってマイケルさんの電話で、「お前、マイケルを真剣に探したのか?」と、怒られてしまいました。



九州電子株式会社

代表取締役社長

北澤 永通

(昭和58年卒)

グランツ株式会社
印刷・デザイン

代表取締役

吉田 秋正

(昭和56年卒)

荒木公認会計士事務所

公認会計士・税理士

荒木 幸介

(昭和53年卒)

熊本城桜の馬場
リテール株式会社

代表取締役社長

丸本 文紀

(昭和53年卒)

特集
私の履歴書

住まいづくりは人づくり

新産住拓(株) 代表取締役社長
小山 英文(平成29卒)



理工学部管理工学科に在籍した私は、半年間の多摩キャンパス、残りの三年半は後楽園キャンパスで過ごした四年間でした。多摩キャンパスでは「マムシに注意！」の看板に度肝を抜かれ、後楽園キャンパスでは駅のホームですりに財布を抜かれそうになったこともありました。今は良き思い出です。当時、後楽園は東京ドームの建築中でした。あの白い屋根を空気で膨らませていたのを思い出します。旧後楽園球場でも友人と



巨人軍江川卓の投球をライトスタンドから応援。その年の引退宣言にはびっくりしました。都心の中心に通う学生生活は楽しくもあり満員電車という理屈をつけて一限目の欠席が多かったような気がします。同級生の多くの友人にも恵まれ、中学高校時代のテニスの経験を生かしテニスサークルで楽しい時間を過ごしました。試験前には私の借りていた狭いアパートに大勢が集まり、過去の出題問題の傾向の情報交換やコピーノートの拠点(試験対策室)として勉強に励みました。大学時代に出会った女性が今の家内です。(内緒ですが合コンで出会いました)現在は二人の息子と娘に恵まれそれぞれが既に社会に出ております。

父(新産住拓の創業者・故小山幸治)は熊本県警勤務時代、中央大学のスクーリングという制度で法律を学び、卒業はしておりませんが生前は中央大学熊本支部の名簿に載せていただいております。熊本支部に入会していることを誇りにしております。

また、私の息子も二人ともそれぞれ中央大学の商学部と経済学部を卒業、良き大学時代を送ったようです。今春入籍した長男の嫁も中央大学の同級生です。私の二男は高校の三者面談の際に公立大学を進める先生に対し、「小山家は先祖代々中央大学なので国立は受けません」と言ってお断りされた経験が「勉強に必要なら科目を減らした勉強嫌いな強者です(笑)」。

私は卒業後、住宅メーカーの旭化成ホームズ(株)に入社、社会人としての基礎を学び、住宅業界の営業職の魅力に惹かれハードながらも仕

事の楽しさ、厳しさを叩き込まれました。なにより素晴らしい上司に恵まれたのが私の大きな宝です。今でもお付き合いさせていただいてます。当時は、常に上を目指せと妥協を許さない上司で、受注の部で全国優勝したチームの中で私も一年目からずっと同期ではトップクラスの成績を残し、仕事をやり遂げた後の美味しいお酒も覚えました。旭化成ホームズ(株)での2年半はかけがえのない経験となりました。もともとこの会社に入社できたのも中央大学の名前で入ったようなもので、先輩たちが築き上げた中央大学の歴史に感謝しております。

その後、熊本に戻り、父が経営する新産住拓に入社しました。当時、プレカット工場の立ち上げという仕事を任されて無我夢中で取り組んだことが思い出されます。

仕事に没頭し、約15年間は厳しい経営者(父)の元、実務と心構えを学びました。

2006年に社長に就任しましたが、「会社はお客様のために」「住まいづくりを通して地域社会に貢献する」という創業からの理念は現在も変わりませんし、これからも変えてはいけないものだと思います。

昨秋創業55周年を迎えましたが、この理念を忘れず道標にしてきたからこそ、地域の皆様のご支援をいただいたのだと、これまで育てていただいた先輩社員や地域の皆様から感謝しております。

当社は「熊本の住まいは熊本の木で」をモットーにした地産地消の住まい。太陽と風の自然の力で乾燥する「天然乾燥材」の利用で木材の乾燥に化石燃料を使わず、又、地域材を活用することで輸送にかかる燃料も削減でき、其々CO2の削減に貢献しています。これはSDGs(持



第25期管理工学科謝恩会記念 平成29年3月24日

続可能な開発目標)の一つにあげられます。

世代を超えて受け継ぐ住まい、安全・安心の住まいを提供するために、長期優良住宅の認定やグッドデザイン賞の受賞等、社名の「住拓」すまいをひらく」に込められたように、お客様にとって最良の住まいとは何かを追い求め、挑戦を続けています。

良い住まい、良い企画、商品をつくるのは人です。そして何より人を育てるのはやはり人です。その為、人財育成は私の使命だと思っています。お客様の幸せづくりのお手伝いをするのと同時に、社員の幸せも考えなくてはなりません。現在、社員全体の52%が20代、30代、女性の割合が44%。産休・育休の取得率は100%、男性社員の育休取得も増えてつあります。

新しい企画も若い社員自らが提案し、実践していく、そんな社風をとっても嬉しく、後年、創業者は良い会社を作った、二代目は良い人財を育てたと言われたいですね。

特集
現役の
学生声

僕の中大ライフ

商学部 商業・貿易学科
1年 寺本 光佑

この文章の執筆時には中央大学に入
学して八か月が経ち、この一年も残す
ところ数週間となりました。東京とい
う慣れない地で一人暮らしを始め、人
生初の大学生活を送り、たくさんの初
めてを経験したこの一年は長くもあり
短くもあった年だと感じています。

後期も終わろうとしている今は、も
う大学での生活にも慣れてきており、
色々なことも落ち着いてきたため、振
り返りも兼ねて自分の大学生活を紹介
したいと思います。

学生の自分は学業であるため、まず
学業について話をすると、前期は主に
マーケティングとアカウントティング、
後期はマネジメントを勉強していま
す。この中で自分にとって興味深かつ
たのはマーケティングです。日頃の生
活に密接に関わっているため、消費者
として購買メカニズムを理解しやす
かったり、それ故に逆の立場としても
考えやすかったりと今後の人生におい
ても役立つことが多いように感じたか
らです。

また、講義内で教授のコネクション
で電通の方が講演をしてくださったと
きがあり、第一線で活躍されている方
の物の考え方を知ることができたと
もに東京の大学の規模の大きさに驚か
されました。ゼミでは、「国際人入門」

という、世界の人権や環境問題につい
てプレゼン、ディスカッションをして
国際人を目指すゼミに入っています。
自分は昔から海外に興味があったため
このゼミを選んだわけですが、初めて
パワーポイントを使ってプレゼンをし
たりディスカッションのやり方を
学んだり大変なためになっていると感
じています。

メンバーの中には韓国や台湾の留学
生もいて日本以外の視点を知ることが
できるのも魅力に感じています。また、
このゼミでは例年海外での現地調査が
あり、メンバー全員の投票によって自
分たちは二月末にフィリピンに行くこ
とになりました。自分は学校に所属
していて、現地の学生と交流してお互
いの文化の違いを調べるため現在は
フィリピン大学と英語でやり取りをし
て話を進めています。訪れる国や宿泊
地、移動手段、企画まで最初からすべ
て学生が行うのでとてもやりがいがあ
ります。

このように自分は海外の文化や雰
囲気が好きなのですが、中大にはジース
クエアという海外からの留学生が集ま
る素晴らしい施設があります。ここで
は留学生と交流するイベントが頻繁に
あり、後期から参加するようになって
英語での会話も慣れ、ノースカロライ

ナからの留学生と友達になることがで
きました。この機会を与えてくれた中
大にはとても感謝しています。サークル
については現在サッカーをやってお
り朝早くからの練習で汗を流していま
す。ただ、フットサルもこれからやる
うかと考えています。

今後の展望としては、簿記やト
イックなどの資格勉強に力を注ぎたい
と思います。特にトイックでは九百
点代をとれるよう頑張ろうと思いま
す。

最後に、私の稚拙な文章を読了して
いただきありがとうございます。



司法書士
峰松英明事務所

司法書士
峰松 英明
(平成2年卒)

新産住拓株式会社

代表取締役社長
小山 英文
(平成2年卒)

アステア税理士法人

代表社員税理士
千田 基史
(昭和63年卒)

株式会社ライフ
プラザパートナーズ

ファイナンシャルアドバイザー
河崎由紀夫
(昭和59年卒)

特集
現役の
学生声

文武両道を実践

経済学部経済情報システム学科
2年 池松 彰忠



熊本から一人で上京して、早くも2年が経とうとしています。親元を離れ一人暮らしをする中で、自分の行動への責任感や将来への不安など、多くの悩み事に向き合ってきたことで今までの人生の中で一番肉体的に成長できた2年になりました。来年度からは大学生活の折り返し地点ということと、自分の大学生活を紹介させていただきたいと思います。

まずは学業についてですが、多くの科目を履修している中で一番力を入れているのはゼミです。経済学部のスポーツ系のゼミに所属しており、私の班は地域活性化とスポーツの関係を経済的な視点から調査しています。その地域が特有のスポーツを通じて事業性を確保するためにどのような活動をしているのか、いかに戦略的かつ計画的に物事を進めているかを文献や他の事例などを参考に意見を出し合い、その研究の内容をゼミ内の各チームでプレゼンテーションをして毎週議論して



ます。その中でゼミ長という立場になったので、先生とコンタクトを取り授業やゼミ活動をスムーズに進めることにとってもやりがいをもって活動しています。

専門科目では、ミクロ経済学やマクロ経済学など経済学について広く勉強していますが、高校時代に習っていない数学Ⅲや会計学などの内容もあり、大学の講義内容の専門性の高さに圧倒されました。しかし、日本や世界の経済の仕組みやお金の流れについて学ぶことはとても興味深く、自分の為になつていきたいと思います。

次はサークル活動についてです。私は体同連フリスバルクラブというサッカーサークルに所属しており、週に3〜5回練習をしています。ここ数年は、年に数回ある全国大会のどれかで優勝しており、今年は夏に行われた全国大会で優勝し日本一になることができました。サークルとはいいながら、周り

本田税理士事務所



税理士

本田 勝範

(昭和52年卒)

〒861-2234
熊本県上益城郡益城町古閑551-5
TEL 096-289-0990

のメンバーはほとんどが全国大会の経験者や県内上位の強豪チームの出身者で、入部当初は周りのレベルの高さに戸惑いましたが、今は高いレベルに何とかついていきながら、切磋琢磨しながら練習しています。まだ上の学年がいることもあり、Aチームで出場する機会は少なかったですが、最近新チームに切り替わり、これからはチームを引っ張っていけるような存在になるために、サッカーにも本格的に向き合っていこうと思っています。

来年は、最後の全国大会やサークルの引退、就職活動など、これからの取り組み方が今後の人生を大きく左右する一年になると思うので、目の前のできることに對して一つ一つ努力していこうと思います。

**熊本銀行
白門会一同**

**肥後銀行
白門会一同**

会長
塚崎 隆之
(平成2年卒)

アリオン法律事務所

弁護士
宮崎 耕平
(平成13年卒)

株式会社 上田商会

代表取締役
上田 修司
(平成5年卒)

熊本白門ライオンズクラブのご案内

熊本白門ライオンズクラブ
会長 宮崎 耕平(平成13年卒)



ライオンズクラブとは、社会奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」に所属するクラブのことをいい、会員がクラブの活動を通して地域社会に奉仕することを目的としています。

熊本白門ライオンズクラブは、熊本県内在住の中央大学OBにより組織されたライオンズクラブで、政財界・実業界で活躍されている方々や士業等の大学OB 28名が所属しています。

当クラブは、会員が同じ母校での学生生活(青春時代)を過ごしたという共通の基盤があり、強い結束力と会員間の仲の良さが特徴です。

月に2回、水曜日に例会をホテル日航熊本にて開催し、会員間の親睦を深めるとともに、坪井川園遊会の運営ボランティア、献血推進、薬物乱用防止キャンペーン活動等の各種活動(アクトといいますが)に取り組んでいます。

会員間の親睦を深めるにあたっては、様々な企画を催すことがありますが、中でも例年12月24日に開催されるクリスマス家族例会は、会員の家族も参加する一大イベントとなっています。

昨年12月24日もホテル日航熊本で70名を超える参加者が集まり、クリスマス例会が開催されました。

当日は、家族の近況報告、外部からお招きするアトラクション、会員が持ち寄った豪華景品を当てるビンゴ大会(最終的に参加者全員が当たります)、子ども達へのサンタクロースからのプレゼント等のプログラムが和気藹々で行われました(ビンゴ大会は白熱しました)。

当クラブは、今年で結成15周年を迎えます。

当クラブは、年に1度の学員会支部総会だけでは物足りない・ボランティアに興味はあるけど交流もしたい・水曜日は家に帰りたい・外に出るのに家族向けの理由が欲しいなど、多種多様な要望にお応えできます。ご興味がある方は、是非一度見学にお越しください。

※「熊本白門ライオンズクラブ」のFacebookページもご覧ください。



我らが母校中央大学は新しく生まれ変わります。

中央大学は中長期事業計画「Chuo Vision 2025」に取り組んでいます。詳細は同封の「白門飛躍募金」のパンフレットをご高覧の上、一口でも二口でもご寄付くださいますようお願いいたします。



2023年、法学部が文京区の新キャンパスに移転(完成イメージパース図)



多摩キャンパス再整備計画「学部共通棟(仮称)」建設(2021年度供用開始予定。完成イメージパース図)



「グローバル館・国際教育寮」の建設
2020年度供用開始

蕎麦処 阿蘇の風にお立ち寄りください

上野 博行(昭和48年卒)



昭和48年、渾沌とする母校をレポート試験で卒業し、日本橋に本社を構えるスーパード(株)長崎屋に就職しました。川崎、横浜、自由が丘などの店で働く一方、創立間もない労働組合の活動に積極的に発言・参加。すると、「お前、そんなに組合が好きなら、上部団体が人を欲しがっているぞ」と声が掛かり、産業別組織「ゼンセン同盟(現在のU.A.ゼンセン)」に31歳の時に加入。以降、61歳で退職するまでの30年間組合運動に携わってきました。

最後の任地となった広島時代、「そろそろ終の棲家を」と探し当てたのが現在の阿蘇の家。

八代出身の私にとってほぼ40年ぶりに熊本・阿蘇へJターン。高校の下宿生活から数えると、人生15回目の転居です。

阿蘇は少年時代からの憧れの地。広がる草原と煙たなびく中岳、そして温泉。しかし、2011年11月の転居後、数々の試験が待ち受けていました。大水害、噴火・爆発、台風、そして大地震。60歳過ぎて、それまで未経験の出来事が次々と起き続けています。

そんな中、14年12月、我が家にて妻と二人で「蕎麦処 阿蘇の風」を始めました。北京生まれ・育ちの妻と、中華と日本のそばをコラボした、

ちよつと風変わりなそば屋です。お陰様でこの12月で満5年を迎えますが、熊本地震の被害で国道57号や豊肥線が未通のまま。来年度内には開通予定ですが、今年が一番苦しいようです。

グルメ本やTV、FM、阿蘇市「然」、そしてミシユランガイドなど沢山ご紹介いただきましたが、未だ行列が起きた事はありません。

小生も来春四月には70歳。「何歳までやれるのか」と自問しておりますが、「交通網が通常な状態かどうか」が知りたいのです。

今しばらくは頑張ります。阿蘇にお出での際には、「蕎麦処 阿蘇の風」にお立ち寄り頂ければ幸いです。



ガンバレ!! Chuo Vision 2025

おかげさまで創業70年。

株式会社 岩田コーポレーション

代表取締役社長 岩田 英志 (昭和51年卒)

【本社】熊本市北区和泉町 168-18 フードパル熊本内 TEL.096-245-5211

【あんたがたどこさ事業部】TEL.096-245-5220

フードパル熊本 本店/鶴屋百貨店/熊本城 城影苑店/JR熊本駅店/熊本空港店/サクラマチクマモト店/東京ショールーム

【製菓事業部】TEL.096-245-5211 【不動産事業部】TEL.096-245-5200



社長インタビュー



企業サイト



通販サイト



フードパル熊本 本店

企業サイト <https://www.iwata-corp.jp/>



通販サイト <http://antagatadokosa.com>

熊本大同青果株式会社 株式会社大同リース

代表取締役社長 月田 潔 孝 (昭和59年卒) 宅地建物取引士

〒860-0058 熊本市西区田崎町484 TEL 096-323-2505 FAX 096-323-2503 E-mail:kyfender@kdaido.com



日替わりのお弁当を 会社やご自宅に...

一食からお届けします。

(株)ピライ 給食宅配サービス

おいしいな きゅうしょく 0120-047-949

S60年卒 平井 謙丞

